

「冷 凍」2009年9月号に、広告掲載のお願い！！

＜特別広告企画：製品カテゴリー＞：「熱 交 換 器」

次世代冷媒、二次冷媒、超臨界圧・凝縮・沸騰伝熱、
伝熱促進・熱抵抗低減、冷凍機油や不純物の影響、
省冷媒化、熱交換器設計法、熱交換器とシステム性能

社団法人日本冷凍空調学会

(印省略)

拝啓 貴社 益々ご隆昌の段大慶に存じます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

学会誌「冷凍」は「熱交換器」について＜特別広告企画＞を、いたします。

冷媒によるオゾン層破壊や地球温暖化、冷凍機・ヒートポンプの普及に伴うエネルギー消費量の増加など冷凍空調に関連する急務の問題を解決するために、自然冷媒の使用や冷凍機・ヒートポンプの高性能化など、環境負荷低減の技術革新が精力的に進められています。その中でも、冷凍機・ヒートポンプの主要要素機器である熱交換器の高性能化、高機能化、コンパクト化の問題が極めて重要な課題の一つです。

学会年次大会でも、熱交換器に関するオーガナイズドセッションを中心として、熱交換器に関わる多数の研究・技術開発が発表されています。

敬 具

そこで、学会誌「冷 凍」は、

＜特別広告企画：製品カテゴリー＞：「熱 交 換 器」 をいたします。

次世代冷媒、二次冷媒、超臨界圧・凝縮・沸騰伝熱、伝熱促進・熱抵抗低減、
冷凍機油や不純物の影響、省冷媒化、熱交換器設計法、熱交換器とシステム性能。

＜ F A X 返 信 廣 告 掲 載 申 込 書 ＞

理工企画株式会社 小 川 行

(FAX 03-3241-2296)

「冷 凍」 2009年9月号 広告掲載申込書

＜特別広告企画：製品カテゴリー＞：「熱 交 換 器」

(HP)

(A) 普通頁 ・A4判・1 頁・(@87,000.-) 掲載申込 []

(B) 普通頁 ・A4判・ 1/2 頁・(@50,000.-) 掲載申込 []

消費税5%は別途加算されます。

(1) 広告掲載原稿は(CD)で納入します。 []

(2) 広告掲載原稿を、メールで送信します。 []

* 送信先メールアドレス：data@rikoh-kikaku.co.jp

* 出力ゲラ(刷り見本)をFAXしてください。(FAX 03-3241-2296)

(3) 広告は、掲載しません。 []

(4) 見本誌を希望。 []

上記、該当の[]に、○印を、ご記入下さい。

● 広告申込締切日 : 2009年8月21日 (金)

● 広告原稿締切日 : 2009年8月24日 (月)

(貴社名)

(ご担当名)

(TEL)

(FAX)

(E-mail)

2009・2010年度 学会誌「冷凍」＜特集企画＞予定（案）

社団法人日本冷凍空調学会専属広告代理店
理 工 企 画 株 式 会 社
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-6-12
 TEL 03-3246-1261(代) FAX 03-3241-2296
 E-mail:annai@rikoh-kikaku.co.jp

発行日・毎月15日	テーマ	広告原稿締切日 (ポジフィルム)
2009年／ 1月号	「水産物のゼロエミッション －課題と展望－」	08年 12月10日
2009年／ 2月号	「冷凍空調機器の検査検定の現状と展望」	09年1月10日
2009年／ 3月号	「冷蔵倉庫の実際」	09年2月10日
2009年／ 4月号	「老健福祉空調システムについて」	09年3月10日
2009年／ 5月号	「冷凍空調分野におけるシミュレーション 技術の活用（1）」	09年4月10日
2009年／ 6月号	「第36回（平成20年度） 日本冷凍空調学会賞」	09年5月10日
2009年／ 7月号	「冷凍空調分野におけるシミュレーション 技術の活用（2）」	09年6月10日
2009年／ 8月号	「冷蔵倉庫に関する技術」	09年7月10日
2009年／ 9月号	「大学や企業における食育の最新事情」 (仮題)	09年8月10日
2009年／ 10月号	「ヒートポンプ冷温水システム」 (仮題)	09年9月10日
2009年／ 11月号	「冷凍化学の新展開」 (仮題)	09年 10月10日
2009年／ 12月号	「極低温の冷却設備」 (仮題)	09年 11月10日
2010年／ 1月号	「グローバルで貢献する冷凍空調技術」 (仮題)	09年 12月10日

* 会誌「冷凍」の発行日は、毎月15日です。

* 社団法人日本冷凍空調学会の情報をメールでお届けいたします。

* 貴社のメールアドレスをお知らせ下さい。 (大会・講習会・会誌の予定目次等)

会 誌 「冷 凍」

- 発行所 : 社団法人日本冷凍空調学会
- 誌名 : 「冷 凍」
- 発行部数 : 10,000部
- 線数 : 133線
- 広告寸法 : A4判 左開き
- : 1 頁 : 天地260mm×左右180mm
- : 1/2 頁 : 天地125mm×左右180mm

●原稿製作について、及び原稿送付先

- * ご希望により原稿製作費の見積書を提出いたします。
- * 版下支給の場合は、ポジフィルム製作費が別途かかります。
- * 生原稿から製作する場合は、別途実費原稿製作費がかかります。

- * メール及びデータ入稿の場合は、ポジフィルム製作費が別途かかります。

- * メールでの送信先は : data@rikoh-kikaku.co.jp
- ①メールでのデータの容量はできるだけ3MB未満に抑えてください。
- ②重い場合は、宅ファイル便などのファイル交換システムを利用して下さい。
- ③又は、CDをお送り下さい。

☆ 広告効果

本誌は、会員配布のため発行部数が確実で、広告掲載いたしますと製品の訴求力が高く、貴社の新たなるビジネスチャンスが生まれます。

- * 製品・技術の情報ターゲットが的確に学会会員へ。

「冷凍空調学会の研究・活動分野」

<機器分野>

圧縮機、熱交換器、自動制御機器、駆動機器・インバータ、送風機、遠心分離機、容積冷凍機、空調機器、暖房・給湯機器、その他関連機器、特殊冷凍機、圧縮機・冷凍空調装置の性能試験と計測機器、設備施工

<冷凍空調応用分野>

空気調和の定義、快適空気調和、産業空気調和、産業冷凍応用装置

日本冷凍空調学会の紹介

日本冷凍空調学会とは

日本冷凍空調学会は、大正14年日本冷凍協会として冷凍・冷蔵技術とそれに 関連する学術技術の発展と普及とを目的として設立以来、わが国の冷凍分野に おける唯一の公益法人として70年におよぶ歴史を歩んでおります。また、その目的を達成させるべく

1. 調査、研究、指導、業績の表彰及び資格の認定
2. 講演会、懇談会、講習会、見学会などの開催
3. 会誌および刊行物の発行
4. 国際冷凍協会との連絡
5. 通信教育の実施など

幅広い事業を展開しております。現在、個人会員約6000名、会社会員約460社により構成され 学術、技術の振興を目指して活動しております。

日本冷凍空調学会のあゆみ

1925年（大正14年）	日本冷凍協会設立認可
1930年（昭和5年）	社団法人認可（農林省水産庁）
1937年（昭和12年）	国際冷凍協会（IIR）日本研究委員会発足（日本側窓口となる）
1956年（昭和31年）	冷凍技術士制度発足（昭和32年に冷凍技士、昭和37年に冷凍空調技士と改め）
1962年（昭和37年）	月刊”冷凍空調技術”創刊（1984年”冷凍”と合併し廃刊）
1966年（昭和41年）	食品冷凍技士制度発足
1972年（昭和47年）	第1回学術講演会開催

1973年(昭和48年)	日本冷凍協会賞制度発足(1974年第1回学術賞表彰実施)
1978年(昭和53年)	A S H R A Eの International Associate(国際友好団体)に加入
1980年(昭和55年)	日本冷凍協会(第1回技術賞)表彰実施
1984年(昭和59年)	”日本冷凍協会論文集”創刊
1990年(平成2年)	通信教育「初級冷凍空調講座」開講
1997年(平成9年)	日本冷凍空調学会と名称変更

会 員

会員の構成

1.	第1種法人会員	A, B, C, D 級	約460社
2.	第2種個人会員		約6,000名
3.	学生会員		
4.	賛助会員・関係団体		

入会金・会費

種 類	級	入会金	会費
第1種 正会員(法人会員)	A級	1,500円	288,000円
	B級	1,500円	144,000円
	C級	1,500円	87,000円
	D級	1,500円	43,500円
第2種 正会員(個人会員)		1,500円	9,600円
学生会員		免除	4,800円

40年以上本学会に在籍の方には会費減免の特典がありますので、詳細は本会までお問い合わせ下さい。

論文購読料

論文集	会員	8,400円
	一般	12,600円

会員の特典

最新の学術技術情報を満載した月刊誌「冷凍」が無料で頒布されます。

学術研究成果、レビューなどの「日本冷凍空調学会論文集」を特価購入できます。

学会の図書は会員特価で購入できます。

各種イベントには会員価格で参加できます。

日本冷凍空調学会学術講演会には参加、発表、討論ができます。

学会内の蔵書（関係団体及び海外の雑誌、書籍）が閲覧できます。

資格認定

技術者の養成および技術者の企業内外での評価アップのため、以下の資格認定を行っています。

冷凍空調技士	冷凍空調関係の設計・施工業務に携わる方に与えられる資格です。さらに下記の認定技術取得要件にもなっています。 ●冷凍装置検査員 ●冷凍装置特別装置検査員 ●冷凍空調工事保安管理者 ●冷媒回収技術者
食品冷凍技士	食品の低温による加工・処理・品質保全の技術に携わる有能な技術者に与えられる資格です。

通信教育

冷凍空調技術講座（初級コース）を毎年6月・10月に開講しています。
第三種冷凍機械受験学習など資格取得および基礎知識が自宅学習でできます。

国際交流

I I R（国際冷凍協会）やASHRAE（米国暖房冷凍空調学会）などの海外諸団体との交流を通じ、国際的に活動しています。

国際会議	テーマ：冷媒、伝熱そしてシステムに関する最前線
I I R国際会議報告会	－海外における自然冷媒の研究と技術開発動向－
国際セミナー	テーマ：環境・エネルギー食～アジアにおける技術展望～

地区活動

各地区の会員啓発を目指してセミナー・見学会をはじめ国際シンポジウムなど幅広く事業を展開しております。

事業委員会 食品冷凍事業委員会	北海道地区事業推進委員会
	東北 地区事業推進委員会
	関東 地区事業推進委員会
	中部 地区事業推進委員会
	近畿 地区事業推進委員会
	西日本地区事業推進委員会